

マルチメディアDAISY図書による 読書支援の可能性

東京都新宿区立戸山図書館
大城 澄子・伴 樹

新宿区の障害者サービスについて

新宿区立図書館では、「活字を読むことが困難な人」のためにサービスの充実と拡大に取り組んできました。これまで、録音図書の製作と郵送サービスなど、視覚障害者を含む身体障害者を中心にさまざまなサービスを試みてきました。

今後は、発達障害者や学習障害者へのサービスを充実させる必要があると考えています。

マルチメディアDAISY図書の活用

「障害があるために読むことが困難な子どもたち」に有効とされるマルチメディアDAISY図書の取り組みについて紹介します。

新宿区には、戸山図書館を含め、9館の図書館があり、すべての図書館でマルチメディアDAISY図書を所蔵しています。児童室には、点字や手話の本などが利用できる本を置いてあります。

新宿区立図書館では、
どんな障害者サービスをしているの？

新宿区立図書館では、新宿区内に在住・在勤・在学で、活字を読むことが困難な方（視覚障害者・ディスレクシアなどの障害をお持ちの方）のために以下のサービスを行っています。ご利用いただくために登録が必要なサービスについては、戸山図書館へ来館、または電話でお申込みください。障害者手帳をお持ちでなくても、障害に不自由を感じている方でもらえます。

①対面朗読——図書館の資料やお手持ちの資料などを朗読するサービスです。
【利用できる図書】 中央図書館・戸山図書館・新大塚図書館・新大塚分館・西原南図書館・戸山図書館
【利用時間】 月曜日の15時～17時、日曜日の10時～12時。
【申し込み】 電話として読者の登録または戸山図書館へ来館、または電話でお申込みください。

②録音雑誌の郵送サービス——読まれた書籍や月曜などの雑誌を郵送されるサービスです。
【利用時間】 月曜日の15時～17時、日曜日の10時～12時。

③録音図書の貸出・製作——カセットテープ、DAISYなどの録音資料はWeb、eBook形式も提供しています。お聴きできない図書は、全国の図書館から貸出するか、制作の依頼、CD（DAISY）制作、複製機（リーダー）などにダウンロードしてお聴きいただけます。制作費の無料は戸山図書館へお問い合わせください。また国立国会図書館へも依頼できます。
(http://www.dnplib.jp/library/) をご覧ください。

④点字資料の貸出、録音図書の蔵書目録（電子・録音図書）——点字資料は他の図書館から借りて貸出します。
のりテープは、ダウンロードしてご利用できます。資料の検索は、「サービスセンター」(http://www.sappo.or.jp/) をご利用ください。
戸山図書館へお問い合わせください。録音図書の検索は、必ず「録音図書」を選択してください。

⑤視覚障害者用資料の郵送貸出——図書館蔵書の方法、複製機蔵書（図書・雑誌、文芸など）のCD、録音図書、点字図書、電子図書）を郵送して提供しています。

⑥「新宿区立図書館だより」のお届け——新しく作成した図書や新刊書、他の図書館で作成した録音図書のほか及び戸山図書館で購入した録音CDの複製品などをテープ、またはDAISY形式で届けて、毎月ご希望へお届けしています。

⑦DAISY図書再生機の貸出・操作説明——録音図書が読めず、カセットテープからDAISYに変わってまいりました。新しい機材がない場合は、複製の貸出と操作の説明を行いますのでご利用ください。

Toyouma Library 東京都新宿区戸山1-1-1 戸山図書館 03-3354-1111
指定管理者：TRC読書推進センター

障害者サービスに関する案内資料

マルチメディア
デージーって？

みんなが幸せに暮らすための考え方を
“ユニバーサル・デザイン”といいます。

マルチメディア・デージーとは、デージー図書を読めないことを考えて発展させたものです。デージー図書は、もともとは視覚障害のある方のために、図書の録音テープに代わるものとして開発されました。しかし現在は、音声データだけでなく、“挿絵”や“文字のアクセシビリティ”にも配慮された「マルチメディア」へと生まれ変わり、視覚障害のある方のみならず、学習障害や発達障害が原因で、印刷された図書を読むことが困難な幅広い利用者に活用されています。

アメリカやヨーロッパでは、このマルチメディア・デージーを使った教育が普及しており、外国語教育にも役立てられています。このような様々な利用者のことを考えたマルチメディア・デージーのあり方は、“ユニバーサル・デザイン”として注目されています。

マルチメディア・デージーの多くは、CD-ROMに収録されています。パソコンに下記の専用のソフトウェアをインストールして置くことで、このソフトで資料検索することができます。
（※資料移動の利用であれば、ソフトウェアは複製してダウンロード可能です。）
・AMIS（アミス）
・LightEye（ライトアイブレイク）
http://www.dnplib.jp/doc/daisy/download/playback.html

マルチメディア・デージーは戸山図書館でも所蔵しています。

Toyouma Library 東京都新宿区戸山1-1-1 戸山図書館 03-3354-1111
指定管理者：TRC読書推進センター

マルチメディアDAISYに関する説明資料



児童室の点字や手話の本

戸山図書館では、2015年にタブレット型端末を導入し、誰もが手軽にマルチメディアDAISY図書を読覧できるようにしました。



iPadでのマルチメディアDAISY図書の閲覧

脳性マヒのあるお子さんは、文字や絵が表示されるマルチメディアDAISY図書に興味を示してくれました。お母さんは「図書館にこんな本があったことを初めて知りました」とおっしゃいました。このことから、図書館で障害者サービスを受けられることがあまり知られていないことがわかります。

そのため、当事者はもちろんですが、家族やガイドヘルパーなどにも知ってもらうように積極的に広報しています。広報の内容として、障害者サービスのコーナーを設け、障害に関する図書を収集しています。加えて関連していることから福祉や介護に関する図書のコーナーを併設しています。



障害者サービスコーナー
(障害に関する資料やチラシを置いている)

障害者の日常生活にあるバリアについての展示を中心に行い、一般の市民の理解につながるようところがけています。



12月の障害者週間企画展示
「図書館の障害者サービスを知ろう！
～活字を読むことが困難な人へ～」

図書館外施設との連携

新宿区立障害者福祉センターと協働し、地域福祉の推進を目的とした「わいわい福祉フェスタ」にこれまで5回参加しています。マルチメディアDAISY図書の体験会を実施し、身体障害、知的障害、発達障害者だけでなく子どもたちにも紹介する機会となっています。



「わいわい福祉フェスタ」での説明の様子

その他、教育の場に役立ててもらおうと、インクルーシブ教育の授業を行う早稲田大学教育学部に、伊藤忠記念財団の協力を受け、マルチメディアDAISY図書の情報を提供しました。

今後に向けて

マルチメディアDAISY図書は、着実に貸し出しや問い合わせが増えてきました。さらに多くの利用者に情報を届けるためには、広報の強化が必要であり、障害者サービスコーナーを館内のわかりやすい位置に設置することが重要と考えています。

また、障害者の読書環境の向上に必要なサービスを、行政と協力した調査によって考察します。学校関係者や保護者などから「障害のある子どもたちの読書支援をしてほしい」という求めが寄せられるようになるには、まずはマルチメディアDAISY図書を認識してもらわなければならないでしょう。